

平成 26 年度 期末評価会議における委員の評価及び意見

(ア) 取組実績の評価 (1) 事業の実施状況

評価点 (配点 30 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	25	20	20

(イ) 取組実績の評価 (2) 事業の実施体制等

評価点 (配点 20 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	15	15	15

(ウ) 取組効果の評価 目標等の達成状況

評価点 (配点 50 点)	A 委員	B 委員	C 委員
	40	30	35

(エ) 総合評価

評価	A 委員	B 委員	C 委員
	A	A	A

主な意見等

- ・ 支援の重点項目を防災・会計・広報と明確にし、地域の自立的運営に向けたつながり拡充を図っている点の評価する。
- ・ 旭区では、地域コミュニティが維持されており、地域の意識も高いからこそ、新しいメンバーの関わりが生まれにくいというデメリットを抱えている印象を受けた。次代の担い手発掘をどのように進めるかが今後取り組むべき課題と見受けられる。地域へのサポートは、全体的には丁寧に取組まれており、有効な支援が適切に実施されていると考えるが、自律的意識を持った方が多い旭区の地域特性にあったサポートの仕方についての検討を進め、他地域のよいモデル事例となる担い手発掘手法を確立することを期待する。
- ・ 旭区においては、ピラミッド型のつながりを基にした地域活動団体の組織がしっかりしているだけに、地域活動協議会のようなネットワーク型のつながりがなじみにくい地域特性があると見受けられるが、今後、戦略的にネットワーク型のつながりを増やしていく工夫が求められると考える。

(評価基準)

- S : 本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A : 本市の求める水準以上の効果が得られた
- B : おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C : 本市の求める水準の効果が得られていない